

令和6年度 渋川小学校 学校だより

令和7年1月10日



かしの木 第15号



3学期のスタートです



2025年がスタートしました。今年もどうぞよろしくお祈りします。休み中、大きな事故やケガもなく、3学期のスタートを切れたこと、とても嬉しく思います。

今年「へび年」。「変化」と「成長」の年と言われています。

新年の幕開け、そして、新学期のスタートということもあり、式の中で、子ども達に、「変化」「成長」につながる「挑戦」の年にしようということをお話しました。

落ち着いた態度で、しっかりと式に臨み、真剣に話に耳を傾ける子ども達の姿がとても立派でした。3学期へ向けての意欲の表れを感じます。

49日間の短い学期ですが、スタートの気持ちを大事にしながら、しっかりと学年のまとめをしていきたいと思っております。

希望や期待を胸に、次の学年に進級・進学できるように、みんなで頑張っていきたいと思います。



始業式では、2学期に引き続き、「あいさつ」「ありがとう」「命」の3つを頑張ることを確認しました。

広げていきます -「ありがとう」の木-

「ありがとうの実」が増えてきています。

会議室にある1枚の写真。優しさや思いやりの実が少しずつ増え、広がってきています。

教職員から子ども達へ。上級生から下級生へ。同じ学級の友達へ。



※ 普段なかなか照れや恥ずかしさで伝えられないことも、手紙にしたら、素直な気持ちを伝えられるかもしれません。

【ありがとうの木】個人的に、日本語で一番美しい言葉だと思っています。優しさ、感謝、思いやり…。短い一言に大きな大きな幸せが

伝える相手はいろいろですが、どの手紙（カード）にも、優しい気持ちがギュッと込められています。

優しさいっぱい渋川小になっていくとうれしいです。

いつも、進んでいろいろなお守りをしてくれすね。とても助かっています。ありがとう。 愛先生より

〈渋川コミュニティ・スクール〉—第4回 学校運営協議会—

保護者、地域の代表の方で構成している「渋川コミュニティスクール」。
年間4回の会合も今回が4回目。今年度最後の話し合いを行いました。

これまでも、授業を参観していただいたり、学校運営の課題や方針等についてご意見をいただいたりしてきましたが、今回の話し合いでは、学校アンケートの結果がまとまったことから、本年度の成果と課題の共有を行うとともに、次年度の学校運営計画の作成について、ご意見をいただきました。



詳しい計画につきましては、今後、PTA本部の方からご意見をいただき、教職員で検討しながら作成していきます。
(みなさまには、総会の折にご報告いたしますので、よろしくお願いいたします)

※ 会合を通して、「渋川の〇〇を大事にしていきたい」「子ども達に、こんな風に育ってほしい」という委員の方の思いが強く感じられました。改めて、渋川小は保護者・地域の方に支えられて教育活動を進めることができているんだという思いをもちました。

校長の独り言



最大級の寒波の到来（というより「襲来」）。渋川小も一面、真っ白の銀世界が広がった。
しんと降る雪。それでも、いつもと変わらず、子ども達の送迎を下さる保護者の皆様には頭が下がる。そして、この雪の中をゆっくりゆっくり、慎重に歩きながら登校する子ども達の姿には感心させられる。私は…。雪の日になると憂鬱になる。雪かき、運転……。これまでずっと雪国暮らしをしてきたが、正直、雪との戦いは心身ともにこたえる。朝、いつもより早く家を出発。学校周りの雪かきなど、雪との格闘を覚悟しながらの出勤。なんとか学校にたどり着く。極度の緊張感から解き放たれて、脱力。「よし行くか！」と気合いを入れ、戦いに出陣。駐車場から昇降口に曲がると…。教頭先生はじめ、職員全員が子ども達の登校する道を除雪してくれていた。一心にスコップを動かして、雪を片付けている。ありがたいなあと思った。そして、雪を片付けながら「校長先生、大変でしたね」との労いの言葉ももらった。涙が出そうになった。素晴らしい先生方に恵まれていると感じた。子ども達のため、学校のため、献身的に働いてくれる先生方。温かい気持ちに包まれながら、自分も雪スコップを片手に急いで立哨指導へ向かう。ん？ 階段前まで1本の道ができている。（遠藤さんだ！） あれっ？ 階段も陸橋も道ができている。（地域の方？） 改めて渋川ってすごい地域だと思った。子ども達が大事にされている。
登校班を待つ間もずっと幸せに満たされていた。「おはよう！」。声はずませあいさつをした。班長の女の子から「ありがとうございます」と優しい一言が返ってきた。「あっ！ 雪スコップ！ これを持っていたからか！」（ごめん、校長先生は今日、あまり雪かきやっていないんだよ…）と思いながらも、「ありがとう」の一言がとても爽やかに心に響いた。苦手だった雪。「雪も悪くないかも…。そう思っていたら、今日は凍結路。ずっとツルツルで、一瞬も気を許せなかった。（やっぱり雪は苦手だ！） ※今日も先生方が雪かきをしていてくれました。本当にありがたいです。